

2026年度 第105回全国高等学校サッカー選手権大会北海道大会 開 催 要 項

9/16赤字追記

- 1 主 旨 日本サッカーの将来を担うユース(18歳以下)年代のサッカー技術の向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、高体連加盟チームが参加できる大会として本大会を実施する。
- 2 名 称 2026年度 第105回全国高等学校サッカー選手権大会北海道大会
- 3 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会、札幌テレビ放送株式会社
- 4 共 催 北海道高等学校体育連盟
- 5 主 管 旭川地区サッカー協会、一般社団法人札幌地区サッカー協会
- 6 後 援 北海道教育委員会、公益財団法人北海道スポーツ協会、旭川市、旭川市教育委員会、東川町、東川町教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、一般財団法人札幌市スポーツ協会、読売新聞社
- 7 期日・会場 2026年10月17日(土)18日(日) 1・2回戦
 - ・リアルター夢りんご東光スポーツ公園球技場A・B(人工芝) 旭川市東光23条8丁目
 - ・東川ゆめ公園人工芝サッカー場(人工芝) 上川郡東川町西3号北7番地
 - ・旭川実業高等学校グラウンド(人工芝) 旭川市末広8条1丁目10月24日(土) 3回戦
 - ・札幌厚別公園競技場および補助競技場(天然芝) 札幌市厚別区上野幌3条1丁目2-111月7日(土) 8日(日) 準決勝・決勝
 - ・大和ハウス プレミストドーム(天然芝) 札幌市豊平区羊ヶ丘1
- 8 参 加 資 格 (1) 2026年度(公財)日本サッカー協会に加盟登録された高等学校チームで、当該団体に登録された生徒であること。
(2) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
(3) 選手は、北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒であること。
(4) 「高体連主催大会参加者災害補償制度」に加入、または加入の意志のある者。
(5) 平成19(2007)年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技会3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
(6) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成および男女混成は認めない。
(7) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(8) 部員不足によりチームを編成できない学校については、別に定める申し合わせ事項により、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
(9) ①転校後6カ月未満の者(全道大会日計算)は参加を認めない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。(外国人留学生もこれに準じる)
②転校を伴わなくても、他の連盟から高体連加盟チームへ移籍する場合は、上記(9)①に準じるものとする。ただし、この規定(9)②の適用は当該年度内に限るものとする。
(10) 選手は、在籍する学校長及び所属地区サッカー協会長の承認を必要とする。
(11) 各チームの登録選手は、(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。写真貼付けのないものは無効とする。
(選手証とは、KICKOFFから出力した、選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。)
(12) 外国人留学生の登録は4名までとし、試合出場は2名までとする。
(13) 参加資格の特例
 - ①本条(2)、(3)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、北海道高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - ②本条(5)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技会3回限りとする。尚、高等専門学校については、第3学年までの19歳未満の者に限る。

【大会参加資格の別途定める規定】

- 1 学校教育法第72条の特別支援学校、第115条の高等専門学校、第124条の専修学校、第134条の各種学校に在籍し、北海道高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ① (公財) 全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - ② 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ③ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失わず、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ① 全国高等学校サッカー選手権大会開催要項を遵守し、大会申し合わせ事項に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - ② 大会参加に際しては、責任ある教員が引率し、万一の事故の発生に備えて万全の事故対策を講じておくこと。
 - ③ 大会開催に要する経費については、応分を負担すること。

- 9 参加チーム数 各地区協会より参加できるチーム数は次による。
- (1) 参加チームが15チーム未満は、1チームとする。
(ただし別途定める規定により参加チーム数に応じて合同予選の場合あり。)
 - (2) 参加チームが15チーム以上で25チーム未満は、2チームとする。
 - (3) 参加チームが25チーム以上で35チーム未満は、3チームとする。
 - (4) 参加チームが35チーム以上で45チーム未満は、4チームとする。
 - (5) 参加チームが45チーム以上は、5チームとする。
 - (6) 開催地区代表校2チーム(旭川地区1、札幌地区1)
 - (7) 今年度全国高校総体代表1チーム、高円宮杯 JFA U-18サッカープリンスリーグ2026北海道参加7チーム、合わせて最大8チームに本大会の出場権を与える。
 - (8) 地区代表チームと合わせて28チームを下回る場合には、別途定める基準枠により、各地区の参加校枠を決定する。(地区代表チーム数は7月下旬に決定する。)

- 10 競技規則 (1) 2026年(公財)日本サッカー協会制定「サッカー競技規則」による。
「競技会で選択可能」と定められている、以下3項目を適用する。
- ① 競技者が、不適切な発言、侮辱、またはその他の攻撃的もしくは差別的な発言が発覚しないように自分の口を覆う行為
罰則内容：退場となる反則
 - ② 競技者が、主審の判定に抗議し競技のフィールドを離れる行為
■ 競技者、交代要員、交代して退いた競技者は、次の反則のいずれかを行った場合、退場を命じられる
・ プレーを継続させる、または再開に関する判断を含めた主審の判定に抗議するために、競技のフィールドを離れる
・ プレーを継続させる、または再開に関する判断を含めた主審の判定に抗議するために、他の競技者に競技のフィールドを離れるよう指示する、または促す
■ チーム役員は、次の反則のいずれかを行った場合、退場を命じられる
・ たとえ競技者が競技のフィールドを離れなかったとしても、プレーを継続させる、または再開に関する判断を含めた主審の判定に抗議するために、競技者に競技のフィールドを離れるよう指示する、または促す
罰則内容：退場となる反則
 - ③ フィールド外での治療および診断の手続きについて
出血・頭部負傷により、フィールド外で治療となった場合において、治療/診断が不要、もしくは治療/診断が短時間で完了すれば、1分を待たずして、フィールド内に復帰できる
- (2) 大会参加申込みをした最大30名のうち、試合毎の登録は20名以下とし、最大9名を交代要員として登録できる。登録された交代要員の内から、交代枠5名までの交代が認められる。
 - (3) 交代要員9名と役員5名(どちらも最大数)がベンチ入りできる。
 - (4) 交代回数の制限について
 - ① 選手交代は、交代回数を前半、後半合わせて3回までとする。(1回に複数人を交代することは可能)

- ②ハーフタイム、延長戦に入る前のインターバルおよび延長戦のハーフタイムでの選手交代は、交代回数に含まれない。
- ③延長戦が行われる場合、さらに1名かつ1回の交代を行うことができる。(直前の80分間と合わせて、最大6名かつ4回の交代が可能となる)
- (5) 脳振盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次のとおりとする。
 - ①本項に基づく選手の交代は、前項に定める交代人数および交代回数に含まれない。ただし、人数は1名に限るものとする。
 - ②本項に基づく選手の交代が使われたならば、相手チームは、(脳振盪に限らず) いかなる理由であっても1人の「追加の交代要員」を使うことができ、1回の「追加の交代」の機会を得る。

- 11 競技方法 (1) トーナメント方式により北海道代表以下第3位まで決定する。
- (2) 1回戦から3回戦までの試合時間は80分(40分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)は、原則として10分間とする。勝敗の決しない時は、PK戦(ペナルティーシュートアウト)により次回戦に進出するチームを決定する。
- (3) 準決勝、決勝戦の試合時間は80分(40分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了から後半開始まで)は原則として15分間とする。勝敗が決しない場合は20分(10分ハーフ)の延長戦を行う。なお決しない時は、PK戦(ペナルティーシュートアウト)により次回戦に進出するチームおよび優勝チームを決定する。

- 12 引率責任者および監督 引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の認めた教職員とする。ただし、引率責任者と監督が同一者の場合は教員とする。校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。

- 13 参加料 大会参加料 33,000円(消費税込)

- 14 参加申込 (1) 参加申込書に登録できる人員は、引率教員1名、監督1名、選手30名、マネージャー2名とする。
- (2) 申込締切期日 2026年9月9日(水)17時必着
- (3) 参加申込書の位置(ポジション)については、GK・DF・MF・FWの用語を使って記入すること。
- (4) 参加チームは、所定の申込用紙により、所属の地区協会を経由して下記(A)、(B)へE-mailで送付すること。
- (5) 参加チームは、参加料および不帯同審判料を下記(B)の口座へ納入すること。
- (6) 親権者同意書は、(A)に郵送すること。
- (A) (公財)北海道サッカー協会
〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41
北海道フットボールセンター内
TEL: 011-825-1100 FAX: 011-825-1101
●参加申込書 ●プライバシーポリシー同意書 ●親権者同意書 ●地区大会成績書
●チームプロフィール ●チーム集合写真 ●プログラム購入申込書
- (B) 旭川地区サッカー協会
E-mail: afa-office@wind.ocn.ne.jp TEL: 0166-51-0122
銀行名 旭川信用金庫
支店名 緑が丘支店
口座番号 普通) 0366290
口座名 旭川地区サッカー協会 2種委員会 代表 森 信博
●参加申込書 ●大会参加料・不帯同審判料

- 15 組み合わせ (公財)北海道サッカー協会第2種委員会・高体連専門委員会が実施する。参加校監督・主将の抽選会への参加はリモート形式とする。開始時間、リモート接続等の連絡は、後日、支部専門委員を通じて行う。
- (1) 期日 2026年9月11日(金) 15:30
- (2) 全国高校総体代表校1校、高円宮杯U-18サッカープリンスリーグ2026北海道上位チームはシードする。

- 16 帯同審判 (1) 出場チームは、(公財)日本サッカー協会認定審判員(2級以上)を帯同させること。監督・コーチの兼務は不可とする。
- (2) 帯同審判員は、大会期間中その業務にあたるものとする。

- (3) 帯同できない時は、17,000円（消費税込）を旭川地区サッカー協会に大会参加料と同時に納入すること。

- 17 選手変更 選手変更期間を3回設ける。それぞれ登録選手の変更は3名以内とし、変更届用紙に必要事項を記載し、所属地区協会を通してメールにて、各提出先へ下記期限までに提出すること。

	対象チーム	提出期限	提出先（いずれも地区協会を通じて2箇所）
①	1-2回戦出場全チーム	10月13日（火）17時必着	（公財）北海道サッカー協会 旭川地区サッカー協会 (afa-office@wind.ocn.ne.jp)
②	3回戦出場8チーム	10月20日（火）17時必着	（公財）北海道サッカー協会 （一社）札幌地区サッカー協会 (taikai-sfa@sfa-rc.net)
③	準決勝出場4チーム	11月2日（月）17時必着	（公財）北海道サッカー協会 （一社）札幌地区サッカー協会 (taikai-sfa@sfa-rc.net)

- 18 ユニフォーム
- (1) ユニフォームは正副2色（シャツ・ショーツ・ソックス、FP・GK用共）を参加申込の際に記載し、各試合必ず携行すること。参加申込時に記載されたものを原則とする。
 - (2) 選手番号については、1番～30番までとする。
 - (3) チームのユニフォーム（ゴールキーパーを含む）のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
 - (4) シャツの前面・背面に選手番号を付けること。ショーツの番号については付けることが望ましい。
 - (5) ユニフォームの色、選手番号の参加申し込み以後の変更は認めない。
 - (6) ユニフォーム広告については高等学校体育連盟の規則により禁止する。
 - (7) ユニフォームに他のチーム（各国代表、プロクラブチーム等）のエンブレム等が付いているものは着用できない。
 - (8) 縞のユニフォームは、識別が困難な場合のみ選手番号に台地を付けるものとする。
 - (9) チームキャプテンは、アームバンドを着用しなければならない。単色のアームバンド。それには、「キャプテン」という単語、もしくは「C」という文字やその翻訳された単語・文字も入れることができるが、単色でなければならない。
なお、キャプテンは、スローガン、メッセージ、イメージおよび広告に関しては、（公財）日本サッカー協会のユニフォーム規程に一致したシンプルなアームバンドを着用しなければならない。
 - (10) その他については（公財）日本サッカー協会のユニフォーム規程を遵守すること。

- 19 マッチウェルフェアオフィサー 準決勝・決勝において配置する。

- 20 懲 罰
- (1) 本大会は、（公財）日本サッカー協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
 - (2) 規律委員会の委員長は専門委員長とし、委員については委員長が決定する。
 - (3) 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
 - (4) 本大会において退場を命じられた選手は、次回戦に出場することができない。それ以降の処分、またはチームの敗退により出場停止処分を消化できない場合の取扱いについては、大会規律委員会において決定する。
 - (5) 本実施要項の記載事項にない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。

- 21 監督主将会議
- (1) 日時 2026年10月16日（金）15：00
 - (2) 場所 緑が丘地域活動センター「グリーンパル」
旭川市緑が丘東3条1丁目10番30号 TEL：0166-76-5288

- 22 開 会 式
- (1) 日時 2026年10月16日（金）16：00
 - (2) 場所 緑が丘地域活動センター「グリーンパル」
旭川市緑が丘東3条1丁目10番30号 TEL：0166-76-5288
（開会式については、選手の参加は主将のみとする）

- 23 閉 会 式
- (1) 日時 2026年11月8日（日）決勝戦終了後
 - (2) 場所 大和ハウス プレミストドーム

- 24 表 彰 (1) 優勝チームには賞状、優勝旗、優勝杯、楯（協会およびSTV）、記念品、協賛社杯を、準優勝チームには賞状、楯、記念品を、第3位（2チーム）には賞状、楯を授与する。
(2) 表彰式は決勝戦終了後に行う。ただし、第3位の表彰式は準決勝終了後に行う。
- 25 そ の 他 (1) 各試合の前に代表者ミーティングを実施する。
①各試合競技開始80分前に所定の場所で行う。（3回戦、準決勝、決勝は90分前）
②「メンバー提出用紙」を出場選手の選手証と共に提出すること。（ユニフォームカラーは未記入のこと）
③両チームのユニフォームを決定する。（ユニフォームを正副一式持参すること）
④諸注意事項の説明等を行う。
(2) 選手資格に関して、その他不都合な行為があった場合は、そのチームの出場を停止する。
(3) 準決勝進出チームは、校旗（部旗）・校歌を録音したものを持参すること。
(4) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は本大会実施委員会（主管地区協会理事長、競技委員長、審判委員長等で構成）において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
(5) 優勝チームには「第105回全国高校サッカー選手権大会」への参加を義務付ける。
(6) 地区代表チームが不測の事態で大会出場ができなくなった場合は、9月9日（水）の大会申込み締切日までであれば、各地区より代替えチーム（地区予選において代表校の次の戦績のチーム）を選出することができる。締切日以降であれば、申込みを行ったチームは不戦敗とする。なお、出場ができなくなったチームが本要項 9（7）に該当するチームの場合は不戦敗とする。
(7) 本事業にあたっては、以下通知の通りとする。
『新型コロナウイルスの5類感染症移行に伴う今後の HKFA 主催事業 について（通知）』
<https://www.hfa-dream.or.jp/information/20230519-02/>

以 上